

# 令和7年度下半期 指定管理者管理運営状況シート

## ●施設の概要

施設名	柳津児童館	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市柳津町丸野1丁目34番地		
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団		
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	19,175,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建のうち2階部分 ◇敷地面積:2,698.00㎡ ◇延床面積:681.55㎡ ◇施設内容:遊戯室兼大集会室、幼児室、図書室、創作活動室、事務室、駐車場 ※留守家庭児童会開設場所		

## ●利用状況

		R7 下半期	R7 上半期	R6 下半期	R6 上半期	R5 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	11,859	12,678	15,398	14,870	13,961
	移動児童館利用者数	374	1,152	231	1,031	104
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※10(0)	※11(0)	※6(0)	※9(0)	※3(0)
	開館日数(単位:日)	143	149	144	147	143

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

## ●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①岐阜市児童館条例施行規則第3条のとおり履行。開館時間は9:00～17:00までとしました。 ②所長及び常勤職員3人、(児童厚生員3人) ③児童用おたよりは毎月小学校に配布。幼児用おたよりは保健センター、公民館及びもえぎの里に掲示依頼。また、ホームページ、Instagram、子育て支援アプリを活用して、行事案内や活動内容等をタイムリーに情報発信しました。 ④ご意見箱の設置。苦情については、施設長を責任者として解決にあたるしくみ・申出先を館内掲示し、適切に対応できる体制をとっています。 ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施しました。
自主事業 提案事業		
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理者点検マニュアル通りに実施しました。 ②職員による館内清掃は毎日実施。さらに週2回就労継続支援B型事業所による徹底した清掃を実施しました。その他業者によるカーペット、窓等の清掃を行い、快適な空間を保持しました。 ③使用していない部屋の消灯や、こまめなエアコンのオフを実践。さらに、窓の開閉による温度調整を行うなど、節エネ対策を講じました。また工作には廃材を利用し、環境に配慮した施設運営を心掛けました。 ④職員による施設の点検を実施し、不具合個所の早期発見につなげています。玩具は、片付けや消毒の際に点検して、職員による修繕が無理なものについては、おもちゃ病院に修理を依頼しています。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①②軽微で職員対応が可能なものは、即時対応。それ以外については、当法人事務局と相談し、業者へ修繕を依頼。ただし、玩具は「おもちゃ病院」に修理を依頼しました。大規模で緊急性があるものについては、岐阜市に報告及び修繕要望をしています。
危機管理	①個人情報の保護	①②③岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害対応マニュアル、児童福

法令遵守	②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	社法等関係法令等を遵守し、適切に実施しました。災害や事故などが発生した場合は岐阜市社会福祉事業団事務局並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。個人情報記載の用紙は、すべてシュレッダー処理を行うなど情報漏洩の防止を徹底しました。また、2月には、併設する高齢福祉センターと合同で消防訓練を実施しました。
------	----------------------	---

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況及び実施結果</p>	<p>&lt;保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート&gt;</p> <p>【期間】 令和7年 12月 1日 ~ 12月 27日</p> <p>【回答者数】 100人</p> <p>【校区】 柳津: 35人 鶉: 14人 茜部: 7人 市橋: 8人 長森西: 2人 三里: 2人 且格: 2人 その他市内: 5人 その他市外: 25人</p> <p>【年齢】 10代: 0% 20代: 10% 30代: 81% 40代: 9% 50代以上: 0%</p> <p>【評価】</p> <table border="1"> <tr> <td>(あいさつ)</td> <td>満足: 94%</td> <td>ほぼ満足: 5%</td> <td>普通: 1%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(言葉づかい)</td> <td>満足: 95%</td> <td>ほぼ満足: 4%</td> <td>普通: 1%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(利用者対応)</td> <td>満足: 94%</td> <td>ほぼ満足: 4%</td> <td>普通: 2%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 2%</td> </tr> <tr> <td>(利用しやすさ)</td> <td>満足: 81%</td> <td>ほぼ満足: 15%</td> <td>普通: 4%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(整理整頓)</td> <td>満足: 87%</td> <td>ほぼ満足: 9%</td> <td>普通: 4%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(清潔感)</td> <td>満足: 80%</td> <td>ほぼ満足: 15%</td> <td>普通: 5%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> <tr> <td>(換気)</td> <td>満足: 83%</td> <td>ほぼ満足: 13%</td> <td>普通: 4%</td> <td>やや不満: 0%</td> <td>不満: 0%</td> </tr> </table> <p>&lt;小・中・高校生用アンケート&gt;</p> <p>【期間】 令和7年 12月 1日 ~ 12月 27日</p> <p>【回答者数】 100人</p> <p>【学年】 小学: 1年 5人 2年 6人 3年 13人 4年 15人 5年 19人 6年 18人 中学: 1年 17人 2年 0人 3年 2人 高校: 1年 2人 2年 0人 3年 1人 無回答: 2人</p> <p>【学校名】 柳津小 75人 境川中 19人 華陽フロンティア高 3人 その他市内 3人 その他市外 0人</p>	(あいさつ)	満足: 94%	ほぼ満足: 5%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%	(言葉づかい)	満足: 95%	ほぼ満足: 4%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%	(利用者対応)	満足: 94%	ほぼ満足: 4%	普通: 2%	やや不満: 0%	不満: 2%	(利用しやすさ)	満足: 81%	ほぼ満足: 15%	普通: 4%	やや不満: 0%	不満: 0%	(整理整頓)	満足: 87%	ほぼ満足: 9%	普通: 4%	やや不満: 0%	不満: 0%	(清潔感)	満足: 80%	ほぼ満足: 15%	普通: 5%	やや不満: 0%	不満: 0%	(換気)	満足: 83%	ほぼ満足: 13%	普通: 4%	やや不満: 0%	不満: 0%
(あいさつ)	満足: 94%	ほぼ満足: 5%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(言葉づかい)	満足: 95%	ほぼ満足: 4%	普通: 1%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(利用者対応)	満足: 94%	ほぼ満足: 4%	普通: 2%	やや不満: 0%	不満: 2%																																						
(利用しやすさ)	満足: 81%	ほぼ満足: 15%	普通: 4%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(整理整頓)	満足: 87%	ほぼ満足: 9%	普通: 4%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(清潔感)	満足: 80%	ほぼ満足: 15%	普通: 5%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
(換気)	満足: 83%	ほぼ満足: 13%	普通: 4%	やや不満: 0%	不満: 0%																																						
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・まだ歩けない子向けのクラスに(0~1才)もっと参加できるようにしてほしい。 ⇒0歳児の子育てをする保護者対象の行事「ベビーダンス」や0歳児の保護者が気兼ねなく参加できるよう「ぺびぺびサロン」の開設を予定しております。皆様の参加お待ちしております。</p> <p>・駐車場が停められない事がたまにある。 ⇒恐れ入りますが、1階の高齢者センターと行事や活動日が重なった場合など、駐車が混み合う場合がございます。駐車場に困った際は職員が臨時の駐車スペースをお伝えします。お声掛けください。</p> <p>・おもちゃが電池切れのものが多々あるので、いっそ電池を使わないおもちゃを増やすのはどうか(幼児教室) ⇒おもちゃの使用にあたってご迷惑をおかけしました。利用者が帰られた後のお昼過ぎや、閉館後におもちゃの起動状況の確認をしていますが、途中で電池が切れてしまう場合もございます。電池で動かないおもちゃがありましたら、早急に電池の交換を行っております。恐れ入りますが、玩具が動かない場合はお声掛けいただければ幸いです。</p> <p>・登録制の活動なのか、予約のいる活動なのかわかりづらい。 ⇒ご不便をかけもうしわけございません。今後はおたより等の掲示物で「登録型・申込型・自由参加型」がわかるように表記いたします。</p> <p>・先生が忙しすぎて遊んでくれないことがある</p>																																										

→いつも遊びに誘ってくれてありがとうございます。皆さんと関わる時間が少なくすみません。順番に皆さんと関わるようにしているため、十分な遊び時間がないかもしれません。多く関われるようにしますので、また声をかけてくださいね。

●指定管理者の選定基準に基づく評価(柳津児童館)

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	S	S
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価				
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者のニーズ、苦情の把握 ・利用者のニーズ、苦情、クレームへの着実な対応・運営への反映	S	S	S
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	A	A	A
		区分評価				
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価				
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体力増進指導に関し知識技能を有する者)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	S	S
		⑬リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	S	S
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	S	S	S
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>□業務改善や工夫(効果性③)</p> <p>・「じどうかんはるまつり2026」の実施(再掲③⑭)</p> <p>3月に小学生対象の「じどうかんはるまつり 2026」を開催しました。1月に「はるまつり実行委員会」を立ち上げて、小学生高学年を中心にはるまつりの遊びや景品を共に計画しました。こどもと当日まで話し合いをしながらはるまつりを準備しました。普段児童館を利用する中高生や近隣の高校にボランティア活動を依頼して、会場準備の手伝いや小学生のサポートをってもらうよう取り組みました。段ボール迷路を作る際は、必要な材料を小学校や PTA の方に協力していただきました。</p> <p>こどもたちで考え、準備したはるまつりで率先して計画したはるまつりに「計画の時間が楽しかった。」「また計画してまつりをやりたい。」と達成感に満ちた活動になったようです。下級生も今回の高学年の姿を見て、計画に参加したいと思ったようです。こどもたちが主体的に活動できる行事として定着していきたいと思います。</p> <p>・岐阜聖徳学園大学看護学科の学生と幼児とのふれあい(再掲③⑭)</p> <p>実習の一環として、学生と利用者とのふれあいの場を設けました。わが子と関わる学生に参加する保護者は関わってもらえる嬉しさやママ友とも違う日常の会話を楽しんでいました。また、当初は幼児クラブを見学するだけの予定でしたが、学生たちと一緒に活動に参加してもらい、幼児親子と仲良く遊びました。こどもたちも大変喜んでいました。</p> <p>・サイエンスショーの開催</p> <p>上半期に続いて、元科学館長によるサイエンスショーを開催しました。今回も新たな出し物や、さまざまな実験をするたびに、子どもたちが驚いたりよめいたりして、科学への関心が高まりました。</p> <p>・自由参加の幼児クラブ「ひつじクラブ」の実施(再掲③④⑥)</p> <p>自由に参加できる幼児クラブをやってほしいという母親からの強い要望に応える形で、事前申し込み不要で当日参加可能な幼児クラブ「ひつじクラブ」を実施しました。朝のこどもの体調や気分に合わせて自由に参加できるため、大変人気があります。</p> <p>・父親参加の講座「パパとあそぼう！」の実施(再掲③⑥)</p> <p>母親ばかりでなく、父親と一緒に児童館で遊んでもらおうとの思いから、土曜日の午前「パパとあそぼう」を実施しました。最初は参加者があるかと心配しましたが、予想外に多くの参加者があり、父親と楽器や風船などで遊びました。参加者からは、「こどもと楽しい時間が過ぎて良かった」との多くの声をいただきました。職員も、いつもの幼児クラブとは違った雰囲気とても新鮮でした。</p> <p>・絵本ライブの開催</p> <p>通常の読み聞かせではなく、音や動きとの競演による絵本の読み聞かせ「絵本ライブ」を3月に開催しました。講師を依頼し、楽器と歌を交えながら楽しく読み聞かせをしてもらいました。子ども達は、いつもと違う読み聞かせに興奮した様子で、体を動かして喜びを表現しており、親からも大変好評でした</p> <p>「小学生の読み聞かせの会」を実施</p> <p>・長期休暇期間に実施した「よみきかせの会」では、小学生ボランティアによる絵本のよみきかせもプログラムに入れました。事前に何回も練習して臨みましたが、本番ではやや緊張気味でした。それでも、大きな声で最後までやり切り、子ども達にとって大きな自信に繋がりました。</p> <p>・子育てママのためのワクワク教育資金&amp;マネーセミナーの開催</p> <p>教育資金の貯め方、お金の知識についてなどの内容をボランティア講師にてセミナーを行いました。セミナーでは、幼児も母親のそばで遊ばせながら、職員もサポートして和やかに行うことが出来、参加した母親からは為になったと好評でした。</p> <p>□新規事業(行事)等の実施(効果性③)</p> <p>・3世代間交流事業(ちびっこふゆまつり)(再掲③⑭)</p> <p>12月に柳津老人クラブにご協力いただいて、幼児親子向けの行事「ちびっこふゆまつり」を実施しました。ふゆまつりのスタッフは老人クラブの皆さんとよく遊びに来る小学生に担当してもらいました。コーナー遊びであそびを披露して、幼児親子が楽しめるように関わりました。老人クラブの方も自分の孫よりも小さい子と関わって微笑ましい時間が過ぎたと喜んでいただきました。小学生も小さい子が楽しめるように一生懸命スタッフをこなし、その頼もしい姿に感心しました。</p> <p>本物のサンタクロースからのプレゼントに幼児とその保護者も笑顔にあふれ、小学生もプレゼントをもらい大喜びでした。子育て世代の親・こどもたち・地域に馴染みのある高齢のみなさん方が1つの行事で同じ時間を共有して楽しく過ごす充実した活動になりました。</p> <p>・職員による絵本の読み聞かせ「おはなしモモちゃん」を実施(再掲③⑥)</p> <p>毎週月曜日の講座や自由参加の行事の始まる前に職員による10分間の読み聞かせの会を始めました。少しずつよみきかせの会の活動が利用者に定着して読み聞かせの会を目的に来館する利用者も増え、楽しんでもらえるようになりました。</p> <p>(下半期 12回開催 平均13人程度が参加)</p> <p>・地域の方を生かした「よみきかせの会」・「折り紙であそぼう」を実施(再掲③⑭)</p> <p>図書館や学校で読み聞かせの活動をされている方に依頼して「よみきかせの会」を実施しました。職員も一緒に入ることによって絵本の読み聞かせの手法を学ばせていただいています。</p> <p>小学生向けに「折り紙であそぼう」を開催しました。日本折り紙協会に所属する方から折り紙でおひな様づくりを教えて</p>
--------------------------	--

いただきました。参加した小学生はより折り紙に興味をもち、次の行事はいつなのか確認するほど行事が待ち遠しいようです。

・幼児親子対象「おやこ DE えいごあそび」を実施(再掲③④)

アンケートの中でも「えいごあそび」の講座がやりたいなど要望があったため、えいごあそびを行事に取り入れました。英語教室で英語を教えていた職員の能力を生かした行事で、いつも児童館で関わる職員の活動のため参加しやすく、こどももより楽しめたと満足していただきました。

・0歳児の保護者を対象にした「べびべびサロン」開設(再掲③④⑥)

0歳児のこどもを育てる保護者が保護者同士のつながりがつくれるように月1回(金曜日)「べびべびサロン」を開設しました。職員が活動の呼び込みや当日に簡単な工作を作って参加する保護者を繋ぎかけをつくり、気兼ねなく参加できる時間をつくりました。参加する保護者が自由に話して悩みの共有やママ友づくりができる時間になりました。始めは初めての顔合わせでもあったため、緊張した様子があったが、足型をとったり、遊びを通して少しずつ笑顔見せる時間が増えていきました。活動が終わった後も参加者はおしゃべりを楽しみ、幼児室で一緒に遊んで行かれました。帰られる際に笑顔で「楽しかったです。」とお声をいただきました。保護者同士が横のつながりがつくれた楽しい時間が過ごせたことが伝わりました。今後も継続して保護者同士を繋がりを作る活動としていきたいです。

◎子どもたちの主体的な活動の場、話し合いの機会等の提供を行ったか。

・「じどうかんはるまつり2026」の実施(再掲③⑭)

小学生クラブ「あそび★クラブ」の実施

・小学生対象のクラブ活動「あそび★クラブ」では、申込みをした小学生で話し合い、やってみたい遊びや工作を計画しました。縦割りグループでみんなが楽しめる遊びを考え、意見を出しあい決めました。高学年が低学年にやさしく遊びを教える姿が、思いやりの心をもち、一緒に遊びを楽しめる活動になっています。

□配慮を必要とする子どもへ適切な対応(効果性④)

・不登校生への居場所の提供(再掲④、⑭)

境川中学から不登校生徒へ活動の場を提供できないかとの相談があり、遊戯室を居場所として提供しました。学校には足が向かないが、児童館なら行けるという本人の要望に応える形となりました。当日は、相談員の方と来館し、バドミントンやドッジビー等で気分転換をしていきます。遊びだけでなく、相談員と一緒に勉強する姿もみられるようになってきました。

・不登校児童等を支援する事業を開催(再掲④、⑭)

境川中学校の先生と協議して、様々な理由から学校へ登校しづらい、教室に居づらい等、通常の学校環境では生活しづらいと感じる子を対象とした出前授業(講座)の場所を提供しました。インフルエンザ等の感染症予防対策もあり、冬季は急遽中学校で開催することになったが、職員が中学校へ出向き、一緒に活動に参加することで、不登校児童と交流を深めることができました。学校だけではなく、地域ともつながりを感じる活動になってきています。

・日本語がうまく理解できない児童・発達に課題がある児童の支援

日本語がうまく理解できない児童や発達に課題がある児童がいた際は、児童の保護者や小学校と連絡を取り、安心して児童館を利用できるように関わっています。

□移動児童館の実施(効果性⑤)

移動児童館を下半期は10回実施できました。(参加者合計374人)

上半期から依頼を受けている活動を継続して実施する。館内で開催予定の不登校児童の課外活動を中学校開催に変更になった際は、職員が中学校へ出向き、児童と交流しました。(前年度より開催数4回増、利用人数230人増)

□職員研修の実施(再掲⑫⑬)(安定性・安全性⑬)

・職員スキルアップ研修会(6月～11月、年4回開催、下半期は2回開催)各児童館・児童センター職員が講師となり持ち回りで開催しました。

10月29日:柳津児童館 内容:0歳児向けクラブの内容について各児童館職員が発表しました。

11月6日:東児童センター 内容:小学生向けのすぐに生かせる工作を各児童館職員が発表しました。

・こどもにおける外傷対応の基礎知識(再掲⑫⑬)

1月20日講師:岐阜大学医学部・講師:岐阜大学医学部教授

内容:児童館利用時のこどもの擦り傷・切り傷をはじめ適切な初期対応方法を学びました。

・よみかせ研修

1月22日 講師:岐阜市図書館司書

内容:絵本や紙芝居を伝える技法を学び、こどもに読み聞かせて伝えるにあたって準備・配慮の大切さを学びました。

・他施設でのOJT研修

12月5日:日光児童センターでOJT研修を受講しました。

内容:職員が他の児童センターへ出向き、幼児クラブの運営方法と中高生の受け入れ状況と居場所づくり事業についてベテラン職員を学びました。

・療育実習

	<p>2月12日:岐阜市立恵光学園 内容:実習により児童発達支援センターの機能、役割を理解し、支援者としての援助技術を深めました。</p> <p>・危機管理(BCP)・感染症対策研修会(再掲⑫⑬) 2月～3月:WEB研修 内容:災害発生時のBCPの取り組み、代表的な感染症と発生時の対応などについて学びました。</p> <p>・虐待防止研修会 1月21日:各分野における虐待の実態と現場職員としての関わり方について学びました。</p> <p>・こどもの人権研修会 2月26日:事務局・講師:岐阜市役所人権啓発センター職員 内容:こどもの権利について知り、こどもと関わる時に心がけることなどを学びました。</p> <p>・サイバーセキュリティ研修会(再掲⑫⑬) 11月:Web研修 内容:インターネットを利用する際に起こりうるリスクと対応策について学びました。</p> <p>・岐阜市子ども計画について 3月5日:これからの児童館の役割や求められることについて再確認できました。</p> <p>□地元の諸団体との連携、交流(貢献性⑭) ・3世代間交流事業(ちびっこふゆまつり)(再掲③⑭)</p> <p>・「じどうかんはるまつり2026」の実施(再掲③⑭)</p> <p>・不登校生への居場所の提供(再掲④、⑭)</p> <p>・不登校児童等を支援する事業を開催(再掲④、⑭)</p> <p>・まなびの広場(学習支援) 地元ボランティア、羽島北高校の生徒にお願いし、春休みに実施しました。最初は緊張していた子供たちが、最後の方は「お兄さん先生」「お姉さん先生」と仲良くなり、楽しそうに勉強している姿が印象的でした。</p> <p>・ちびっこあきまつり 10月に幼児向けのあきまつりを開催しました。ママサークルの皆さんに事前の準備から当日のお手伝いまでをお世話になり、大盛況でした。子ども達のはじける笑顔がかわいかったです。</p> <p>・柳津小学校運営委員会に出席 児童館のPRと共に他の委員との情報交換を行い、児童館への協力をお願いしました。</p> <p>□地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)(貢献性⑮) ・岐阜版アダプトプログラムへの参加 毎月1日の就業前に全職員で建物南側道路の清掃を行っています。</p> <p>・子ども110番の登録(再掲⑬⑮)</p> <p>・子育て支援活動を実施 柳津青少年育成市民会議が主催の「やないづ親子ふれあい教室」に当施設も共催として子育て支援活動を実施しています。下半期は、3つの活動を担当し、ミニ運動会、コンサート、クリスマスクラフトを実施しました。活動をきっかけに柳津児童館を知ってもらい、利用するきっかけとなっています。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○父親が子育ての楽しさというものを感じられるような活動の工夫している →「パパと遊ぼう!」「父親のベビーマッサージ」を下半期も継続して開催いたしました。3世代交流事業「ちびっこふゆまつり」を土曜日に開催したことで、父親も幼児親子向けの大きな行事も参加してこどもとの楽しいひとときを過ごせたのではないかと思います。</p> <p>○中学校と連携して、不登校の生徒の居場所の提供に努める →不登校児童が利用できる環境を続けました。下半期は不登校児童とほほえみ相談員と職員で交流する時間を増やしました。学校だけでなく地域の人(児童館職員)とも関係を築くことで家や学校以外で楽しめて、安心できる居場所になるよう支援いたしました。相談員保護者と一緒に来館した中学生は職員と一緒に卓球で汗を流し、楽しい時間を過ごせたようです。さらに今期は初めて近隣の中学校のフリースペースを利用する中学生のところへ職員が行き、課外活動に参加しました。今後も学校との連携を増やし、児童館もこどもの居場所の一つになるよう拡げていきたいです。</p> <p>○高校生の学習ボランティアなど、地域と広く連携している →高校生のボランティアの活動場所として近隣の高校に呼びかけ、学習支援やはるまつりの手伝いを依頼しました。館内でもボランティアの意識が浸透してきたようで、普段利用する中高生ははるまつりの準備を率先して手伝ってくれました。今期は老人クラブのご協力いただいて「ちびっこふゆまつり」を初めて開催することができました。関わりが希薄になっていた3世代と一緒に時間を共有し、楽しい時間を過ごせました。老人クラブからも「楽しい時間が過ごせた」「今後も続けてほしい」など喜ばれました。今後も地域の団体と連携を深め、たくさんの世代とつながる活動になるようにしていきたい。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○0歳児の幼児とその保護者が今より充実した活動ができるよう講座や活動を増やし、0歳児の親子の支援を増やします。</p>

○地域の関係機関や団体と協力して、児童が安心して過ごせる居場所作りに取り組んでいきます。  
○支援が必要な児童がいた際は、関係機関やエール岐阜などと情報を共有し、安心して利用できるように支援していきます。

#### ●所管課の意見

○比較的利用の多い毎週月曜日の講座や自由参加の行事が始まる前に、職員が犬とうさぎのパペットを使って、10分間の読み聞かせ会をするなど、工夫されている。  
○「じどうかんはるまつり」では、小中学生を中心とした実行委員会で計画をしてもらい、羽島北高校で学生ボランティアを募るなど子どもの主体性、地域との関わりを大切にされている。

#### ●指定管理者評価委員会の意見

○「じどうかんはるまつり」について、小中学生が実行委員として計画を担っていくことは、子どもがまさに主役として企画運営に携わっているという点で、非常に評価できる。また、この地域の高校生がボランティアとして関わっているという構造は、非常に優れている。高校生の参加というのは小中学生にとって、自分のモデルとなる存在と自然な交流となる良い機会であり、また高校生にとっても社会貢献や、場合によってはキャリア教育の機会にもなってくるため、まさに児童館が地域の若者たちを巻き込むハブとしての機能を果たしている。そうした取り組みができていて大変素晴らしい。